

令和 7

小 論 文 A

〔 180 点
50 分 〕

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、白紙を除いて、5 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に
気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、〔令 7 解答用紙〕に記述しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題 次の文章Ⅰ・文章Ⅱを読んで、後の問い（問1～問3）に答えよ。

文章Ⅰ

冬休みが終わり、二学期が始まると雨降りの朝が続いた。うちはわたしが自動車を運転しないので、雨が降っても徒歩通学だが、学校に着いたら制服のズボンの裾がずぶ濡れのうちの息子に同情し、友人たちが一緒に車で登校しないかと誘ってくれているようだ。

坂の上の高層団地に住むティムは、雨がひどく降る朝は一番上のコワモテの兄が（盗難車という噂もある）車で学校まで送ってくれるようで、ちやうどうちの前の道を通って行くからと二日ばかり連続で息子を一緒に乗せて行ってくれた。ところが、その噂を聞きつけたダニエルが、うちの※₁BMWに乗っていけと執拗に息子を誘っているらしい。

「行きはティムのお兄ちゃんに送ってもらって、帰りはダニエルのお母さんっていうのがベストなんだけどなあ。ティムのお兄ちゃんも僕らを送ったら夕方まで仕事だから、帰りは迎えに来てもらえないし」と息子は悩んでいる。

「だけど、帰りだけでいいなんて言い出しにくいから、ダニエルのお母さんに送ってもらうなら行きも帰りも送ってことになるけど、最初に誘ってくれたのはティムだし、そっちを裏切るわけにもいかない」

「朝はティムのお兄ちゃん、帰りはダニエルのお母さんがまとめて送ってくれたら一番合理的だけどね」

わたしが言う息子と息子はぶんぶんと首を振った。

「絶対に無理。彼らは仲が良くないから、なんか僕は2人の板挟みになっちゃって」

「友達から取り合いされてんの？ 人気者じゃん」

と笑うと、息子が真剣な顔つきで言った。

「そういうんじゃないんだよ。あの2人、互いに※₂ヘイトをぶつけ合っている」

ダニエルは、ハンガリー移民の両親を持つわりには移民に対する差別発言が多く、うちの息子とも最初はそれで喧嘩したりして

いたが、一緒にミュージカルに出演したことをきっかけに仲良くなった。以降、まじめなうちの息子が彼の※₃レイシズム発言を口うるさく注意するので、最近ではあまりどぎついことは言わないらしい。

ところが、界限で「※₄チャヴ団地」と呼ばれる坂の上の高層団地に住むティムと息子が仲良くなっているのをダニエルは快く思っていない。「あいつの一家は反社会的」とか「アンダークラスとつきあうとろくなことがない」などと言って、本人の前ではさすがにそういうことは言わないらしいが、偏見に満ちた目つきというのは見られている当人にはわかるものだ。ティムはティムで、「くそハンガリー人」とか「東欧の田舎者」とか人種差別的なことを言い出したそうで、顔を合わせればヤバい空気が漂うと息子のため息をついた。

「確かに、それじゃあ一緒に通学はできそうもないね」

「うん。どうしてこんなにややこしいんだろう。小学校のときは、外国人の両親がいる子がたくさんいたけど、こんな面倒なことにはならなかったもん」

「それは、カトリック校の子たちは、国籍や民族性は違っても、家庭環境は似ていたからだよ。みんなお父さんとお母さんがいて、※₅フリー・ミール制度なんて使ってる子いなかったでしょ。でもいまあなたが通っている中学校には、国籍や民族性とは違う軸でも多様性がある」

「でも、多様性っていいことなんですよ？ 学校でそう教わったけど？」

「うん」

「じゃあ、どうして多様性があるとややこしくなるの？」

「多様性ってやつは物事をややこしくするし、喧嘩や衝突が絶えないし、そりゃないほうが楽よ」

「楽じゃないものが、どうしていいの？」

「楽ばっかりしていると、無知になるから」

とわたしは答えると、「また無知の問題か」と息子が言った。以前、息子が道端でレイシズム的な罵倒を受けたときにも、そうい

うことをする人々は無知なのだと言ったからだ。

「多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う」
わたしがそう言うと、息子はわかったのかわからなかったのか判然としない面持ち^{おも}で、おやつのチーズをむしゃむしゃ食べていた。

（ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』新潮文庫刊、二〇一九年、五七〜六〇頁）

※1 BMW：ドイツにあるプレミアム・ブランドに特化した自動車メーカー

※2 ヘイト：人種や国籍、宗教、思想などに対する憎悪や敵意

※3 レイズム：人種差別や人種主義を意味する言葉

※4 チャウ団地：貧困世帯層が多く住んでいる団地

※5 フリー・ミール制度：生活保護等を受けている貧困世帯の児童に対して無料で飲食を提供すること

本文には一部差別的表現が含まれるが、原文を尊重しそのまま掲載している。

文章Ⅱ

文部科学省ではユネスコによる文化的多様性に関する世界宣言を以下のように仮訳している。以下にその一部を掲載する。

第1条 文化的多様性…人類共通の遺産

時代、地域によって、^{※6}文化のとり形態は様々である。人類全体の構成要素である様々な集団や社会個々のアイデンティティーは唯一無比のものであり、また多元主義的である。このことに、文化的多様性が示されている。生物的多様性が自然にとって必要であるのと同様に、文化的多様性は、交流、革新、創造の源として、人類に必要なものである。この意味において、文化的多様性は人類共通の遺産であり、現在及び将来の世代のためにその重要性が認識され、主張されるべきである。

(文部科学省編、〃文化的多様性に関する世界宣言(仮訳)〃、<https://www.mext.go.jp/unesco/009/1386517.htm>
(参照 2024-09-02))

※6 文化とは、特定の社会または社会集団に特有の、精神的、物質的、知的、感情的特徴をあわせたものであり、また、文化とは、芸術・文学だけではなく、生活様式、共生の方法、価値観、伝統及び信仰も含むものであること

問1 文章Ⅰの傍線部「無知」とは何か。五〇字以内で答えよ。〔三〇点〕

問2 文章Ⅱを参考に文章Ⅰから読み取ることのできる文化的多様性とは何か。一〇〇字以内で答えよ。〔七〇点〕

問3 文化的多様性を踏まえた社会の在り方について、あなたの実生活における具体例をあげながら二〇〇字以内で論ぜよ。
〔八〇点〕